

田中 一良 議員

新政みらい・維新



病院

市民病院の医師の偏在と将来のために

議員 小児科医は1名の女性医師のみ、“子育てするならゼツタイ三田”とは、かけ離れている。夜間の救急は、「神戸こども初期急病センター」まで行かなければならない。派遣要請以外に手立てはないか。若手医師の積極的な誘致活動が必要だ。

市 医師確保に向け環境整備充実努める

現在は大学医局等からの応援医師派遣で何とか体制を維持しており、医師の確保は大きな課題。若手医師にとって“魅力ある病院”作りが重要である。女性医師が働きやすい職場環境整備や研修の充実などを行っていく。(辻病院副事業管理者)

他の質問 ●庁舎ロビーの活用について ●特色ある学校教育の推進について

説明 *神戸こども初期急病センター:神戸市中央区のHAT神戸にあり、夜間・休日における子どもの急病に対して、初期小児内科の救急医療を提供。

多宮 健二 議員

新政みらい・維新



ごみ

高齢化社会を見据えたごみ事業の見直しを

議員 高齢化社会に向けてびんポストが市民にとって利便性が悪い。また、ごみ行政全般に見直す業務があると思うが、その改善方法について市の考えを伺いたい。

市 市民負担の少ないよりよい方法を研究

びんは3分別を継続することを前提に、市民に負担の少ない方法を調査・研究をしたい。ごみ行政全般については施設の将来のあり方など、ごみ収集を取り巻く環境の変化も考えられるので、長期的な視点に立ち、よりよい方法を研究したい。(菟原経済環境部長)

他の質問 ●認知症予防策と活動普及及び助成

檜田 充 議員

市民の会



シティセールス

シティセールスの強化へ連節バスの活用を

議員 現在連節バスは土日の大半を車庫で眠っているが、神戸市北区の商業施設に全国から押し寄せる買い物客の輸送など、市の宣伝に活用すべき。

市 土日運行できるように応援。

土日の活用については、バス事業者と共に検討してきた。市の観光PR活動の一環とすべく、有馬富士共生センター、有馬富士公園並びに人と自然の博物館への土日祝日に定期路線が運行できるようにしたい。神戸市北区の商業施設への運行は、バス事業者において検討されており、応援していく。(市長)

他の質問 ●普通学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒への対応 ●ひまわり特別支援学校で開催された「地域社会共生フェスティバル」 ●三田駅前賑わい創出

説明 *連節バス:大量輸送のために車体が2つ以上つながっているバス。連節部分が幌でつながっているため自由に行き来できる。現在兵庫県での導入は三田市のみとなっている。

長尾 明憲 議員

日本共産党三田市議団



児童福祉

児童虐待防止の体制整備を!

議員 全国的に児童虐待は増えており、三田市も例外ではなく、平成26年度の相談・通報は423件、前年度比で63件も増加。法改正で市と県の機能分担も予定されており、負担や専門性も要求されるため体制整備は必須である。市家庭児童相談室と県川西こども家庭センターの体制強化をすべきでは?

市 連携強化を検討する

国の動きも踏まえながら、相談体制の強化、県との連携強化は検討し実施していかなければならない。必要であれば県にも要望していく。(市長)

他の質問 ●在住外国人の支援 ●地域経済の活性化

説明 *川西こども家庭センター:「こども家庭センター」は、児童福祉法に定められている児童相談所。子どもと家庭のさまざまな問題について相談援助活動を展開している。三田市は川西こども家庭センターの所管区域となる。

福田 秀章 議員

盟政会



施設

地場産レストランはどこに

議員 市長は公約のプロジェクトの中で、地場産レストランの整備を掲げ、農業を盛り上げようとしているが、どこでどのように実施されるのか

市 運営手法など研究していく

事業費の低減、早期開業の実現、三田らしいロケーションなどを念頭において場所を選定する。民間ノウハウを取り入れることで質の高いサービスが期待できることから、設置や運営の手法について、民間活力の導入を含めて幅広く研究していく。(市長)

他の質問 ●企業誘致とシティセールスの推進 ●ウォーキングコースの整備 ●通学路の安全対策 ●高齢者の外出支援 ●三田市水道事業における安全対策等



厚地 弘行 議員

新政みらい・維新



教育

訪問型の家庭教育支援導入を

議員 「親の甘やかし過ぎ」など家庭教育力が低下するなか、国はチームによる支援、家庭訪問型支援、アウトリーチによる個別対応の家庭教育支援が必要と捉え予算をつけている。自治体の16%で実施しているが三田市でも取り入れるべきと考える。

市 先進地の取組みを参考に研究する

家庭教育学級に加えこれからは「三田未来塾」により生活習慣などを身に着けるよう推進する。ご指摘の訪問型家庭教育支援については、先進市を参考に研究する。(市長)

他の質問 ●街路樹の根上がりによる事故対策 ●将棋の竜王戦開催

説明 *アウトリーチ:語源は英語で手を伸ばすことを意味する。公共機関の現場出張サービスなどの意味で多用される。 *三田未来塾:地域戦略の中核として市が掲げる重要プロジェクトの一つで、小学生等の指導に対しシニア・学生の活用を図るもの。

市議会に「総合戦略特別委員会」を設置しました。

市議会では「総合戦略特別委員会」を設置し、市が「三田版総合戦略」について検討している事項の取り組み状況並びに策定後の進捗状況等を調査、審議します。

「三田版総合戦略(三田市まち・ひと・しごと創生総合戦略)」は、2060年までの長期的な人口ビジョンで示す現状と将来の姿を踏まえ、安定した人口構造を保ち、将来にわたって活力ある地域社会を実現するため、平成31年度までの最初の5か年間で取り組むべき施策などを掲げる計画です。

市における安定した雇用や新しい人の流れの創出、若い世代の妊娠・出産・子育ての希望実現、時代に合った地域づくりなどを柱として、今年度内に策定することとしています。

委員長 檜田 充

副委員長 長尾 明憲

委員 平野 菅子 厚地 弘行

今北 義明 前中 敏弘

